

## 単元株式数変更 株式併合のご案内

単元株式数(市場での売買単位が1/10)

株式併合(1株当たりの資産価値が10倍)

# 1,000株→100株

# 10株→1株

取締役会および定時株主総会の決議に基づき、定款を変更し、平成28年10月1日付で単元株式数(市場での売買単位)を1,000株から100株に変更しました。同時に、当社普通株式10株を1株に併合いたしました。

このため、お手持ちの株数は1/10となりますが、市況動向等の他の要因を除いた1株あたりの資産価値は10倍となり、お手持ちの株式の資産価値に変動はございません。また、1株当たりの配当額も調整を行っており、株式併合前後でお受け取りいただく配当金の予定額にも変動はございません。

株式併合の結果、1株に満たない端数株式が生じた株主さまに対しましては、これに相当する金額を、今回の中間配当金とあわせてお支払いいたします。

# AICHI STEEL



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915



株主・投資家のみなさまへ

証券コード：5482

## 第113期 中間報告書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

 愛知製鋼株式会社



# AICHI STEEL

## Company of Choice Globally ~「世界中で選ばれる会社」へ~

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、本年1月8日に発生した知多工場の爆発事故により、株主さまをはじめステークホルダーのみなさまに多大なるご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、復旧へのご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

### 世界中で選ばれる会社への「ステップアップ」

今回の事故は、当社が素材メーカーとして担う役割とお客様に対する供給責任の重要性を改めて強く認識させられるものとなりました。また、今回の事故で見えてきた当社の弱点を改善するため、安全・生産管理・物流面を中心としたモノづくり力のベースアップを図る「**ステップアッププラン**」を新たに策定し、取り組んでまいります。

安全面では、「ミスは必ず起こる」を基本的な考えとし、**人と物の両面から被害を防ぐ**、または最小限

に抑えるフェイルセーフに取り組んでまいります。

生産管理面および物流面では、生産工程全体の流れをユーザーの状況まで踏まえて把握することでムダやロスを徹底的に排除し、最適な生産体制構築およびスマートな在庫管理による**原価低減と物流コスト削減**により、収益向上に繋げてまいります。

また、当社グループの**オンリーワンの製品・技術**を成長させるために必要な設備投資を、幅広くかつ積極的に行ってまいります。

これらの取り組みを真摯に行うことで、当社グループは、広く社会から必要とされ、信頼される「**世界中で選ばれる会社**」となることを目指してまいります。

### 各事業への取り組み

鋼材事業については、生産プロセス改革である「鋼材4Sリエンジニア」を着実に進めております。今年の5月には、**国内電炉業界初の発電事例**として電気炉排熱からエネルギーを回収し、さらに電力に変換

し活用することに取り組んでおり、工場全体の**省エネ化とCO<sub>2</sub>排出量の削減**を進めてまいります。また、老朽化したインフラの再構築に当社の高機能で多彩なステンレス鋼が、幅広い分野で貢献できると考えています。

鍛造品事業につきましては、自動車の軽量化に伴い、軽量かつ高強度な素材が求められていますが、当社最大の強みである**鍛鋼一貫**を活かし、開発段階からお客様と一体となってモノづくりに取り組むフロントローディングで、**お客様のニーズをいち早くキャッチ**してまいります。

電磁品事業においては、当社のネオジウム系異方性ボンド磁石「マグファイン」は、レアアースであるジスプロシウムを使っておらず、資源問題に対応した製品です。また、昨年確立した**一体射出成形技術**による成形自由度の高さを活かし、お客様の**モータ設計の自由度向上とコスト削減**に貢献してまいります。電子部品事業ではフロントローディングの成果として、ハイブリッド車のインバータ用冷却部品への展開が進んでいます。

### 収益基盤の強化と年輪的成長

当社グループは、CSR経営の取り組みとして、「**正直・清掃・安全**」を第一とする「**1 S**」のより一層の徹底と浸透により、コンプライアンスや安全への取り組みを徹底してまいります。今後とも、創業者、豊田喜一郎の創業理念である「**よきクルマは、よきハガネから**」を進化させ、当社製品が社会で重要な役割を担う「**よき社会は、よき素材から**」という使命感をもってモノづくりに取り組んでまいります。今回の事故の教訓を元に「**ゼロからの再出発**」を果たし、ステークホルダーのみなさまからの信用・信頼の一刻も早い回復に努めてまいります。そして、社員全員が「**I Will**」の当事者意識を持ち、「**Ever Better(これまで以上)**」の姿勢で課題に取り組み、全員の心と力を一体にすることで、収益基盤を強化し、**モノづくり力を年輪のように成長**させてまいります。株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

### 経営理念

国際的視野にたち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する。

1. 研究と創造につとめ、常に時流に先んずる。
2. 相互の信頼と理解のもとに、一致協力する。
3. 責任ある判断と行動のもとに、常に最善を尽くす。



取締役会長

岩瀬隆広



取締役社長

藤岡高広

■当上半期の市場環境と業績

当上半期におけるわが国経済は、政府の経済政策により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし中国をはじめとするアジア新興国の景気減速等、わが国経済を取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当上半期の売上高は、前年同期（1,122億5百万円）に比べ8.2%減の1,030億2千4百万円となりました。

当上半期の利益につきましては、原材料・エネルギー価格の下落があったものの、販売価格の値下がりなどにより、営業利益は前年同期（60億3千7百万円）に比べ2億3千9百万円減の57億9千8百万円、経常利益は前年同期（61億4千9百万円）に比べ7億5千4百万円減の53億9千5百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期（38億2千2百万円）に比べ1億9百万円減の37億1千3百万円となりました。

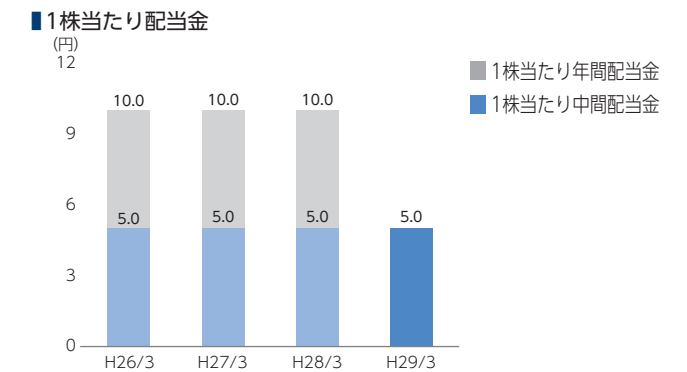
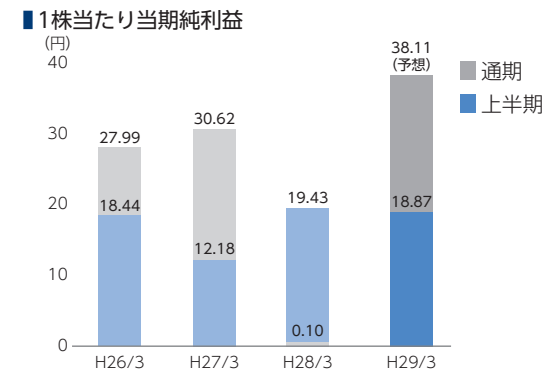
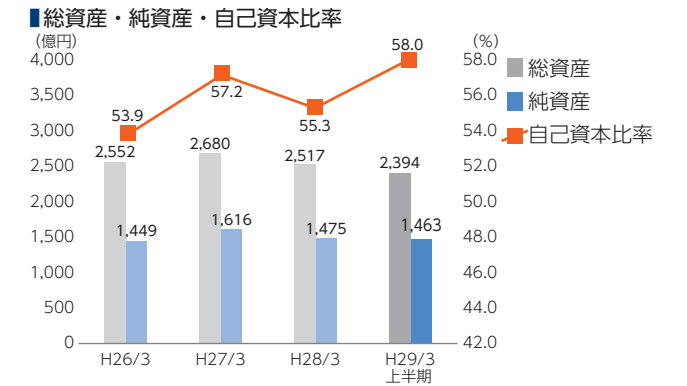
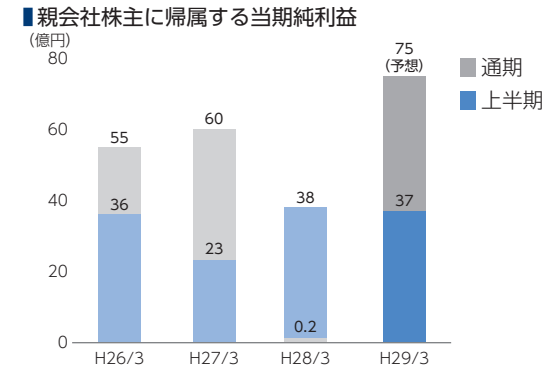
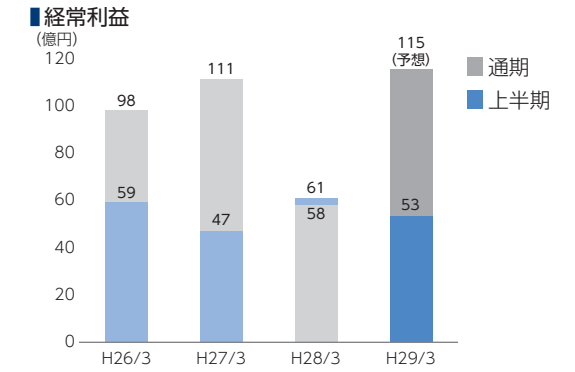
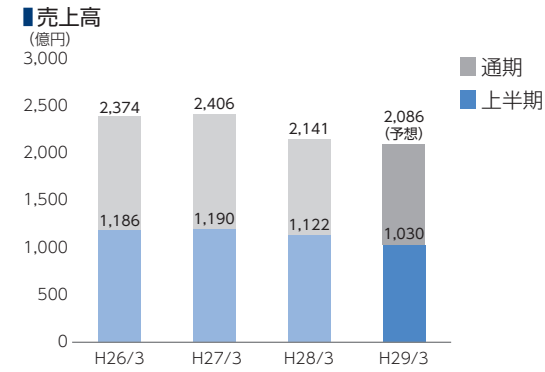
■当期の見通しおよび業績予想

ステンレス鋼などの販売数量が期初の想定を上回ったことに加え、期初からの顧客との販売価格交渉が決着し、これらを四半期決算に反映させた結果、売上高・利益ともに既公表の予想数値を上回ることとなりました。

通期業績予想につきましては、想定に対して海外子会社の販売数量の減少が見込まれるため、連結売上高を2,086億円に修正いたします。

利益につきましては、下半期は、販売価格・原材料価格の想定を見直したことに加え、期初の想定に対し、海外子会社の販売数量の減少やエネルギー価格の上昇を織り込んだことにより減益が見込まれるため、通期の既公表値を据え置くことといたしました。

なお、平成28年1月8日に発生した当社知多工場爆発事故に関連し、今後、取引先に対する補償または費用の負担が発生する可能性があります。上記の業績予想には織り込んでおりませんが、発生することが明らかとなり、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。



※株式併合を考慮しない場合の1株当たり当期純利益の推移です。  
 なお、1株当たり当期純利益期末予想額は株式併合を考慮した場合、381.08円となります。

※株式併合を考慮しない場合の1株当たり配当金の推移です。  
 なお、1株当たり期末配当金予想額は株式併合を考慮し、50円となります。

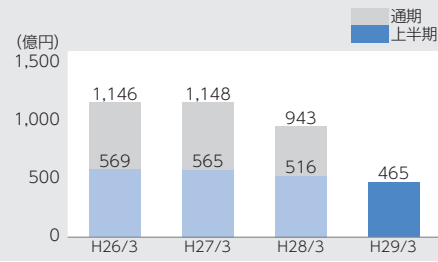
# セグメント情報

## 鋼材事業 売上高465億円 (前年同期比10.0%減)

主要製品 ▶ 構造用合金鋼、構造用炭素鋼、快削鋼、ばね鋼、軸受鋼、ステンレス鋼、工具鋼、高抗張力鋼、製鋼用資材



特殊鋼条鋼およびステンレス鋼が主力製品であります。販売価格の値下がりと販売数量の減少により、当上半期の売上高は465億円(前年同期比10.0%減)となりました。

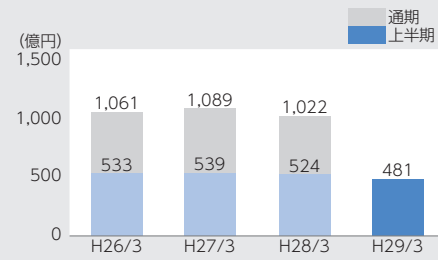


## 鍛造品事業 売上高481億円 (前年同期比8.2%減)

主要製品 ▶ 型打鍛造品(自動車部品粗形材、機械部品粗形材)

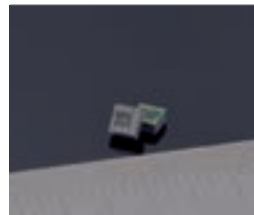


自動車用型打鍛造品が主力製品であります。販売価格の値下がりと海外子会社の販売数量の減少により、当上半期の売上高は481億2千3百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

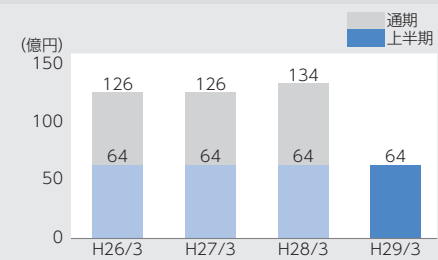


## 電磁品事業 売上高64億円 (前年同期比1.2%増)

主要製品 ▶ 電子機能材料・部品、磁石応用製品



センサ事業、磁石事業など、新規事業の育成・強化を図っており、将来は中核事業化を目指しております。当上半期の売上高は64億8千7百万円(前年同期比1.2%増)となりました。



## その他事業 売上高19億円 (前年同期比10.2%増)

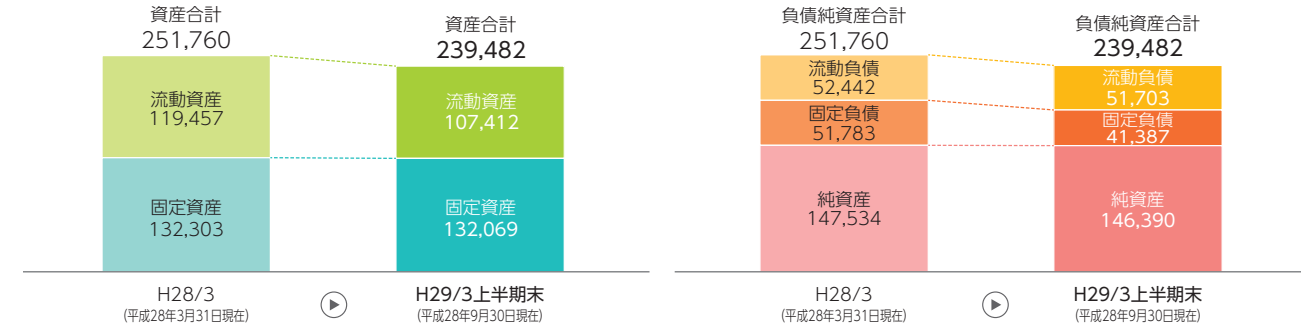
主要製品 ▶ サービス事業、コンピュータ・ソフト開発

子会社によりサービス事業、コンピュータ・ソフト開発等を行っております。当上半期の売上高は19億1千2百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

# 連結決算

## 財務の状況

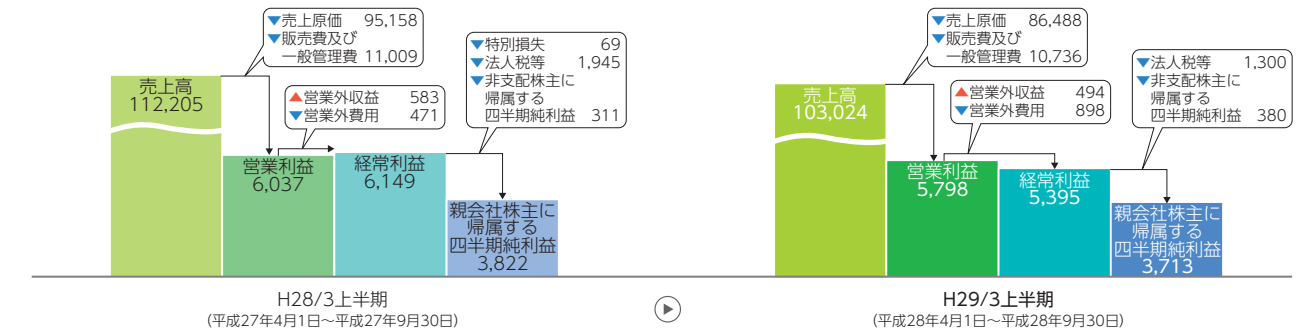
(単位:百万円、未満切り捨て)



総資産は、現金及び預金、仕掛品の減少などにより、前連結会計年度末に比べ122億7千8百万円減の2,394億8千2百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、111億3千5百万円減の930億9千1百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などの増加があったものの、為替換算調整勘定の減少などにより、11億4千4百万円減の1,463億9千万円となりました。

## 収益の状況

(単位:百万円、未満切り捨て)



連結売上高1,030億円は前年同期比8.2%の減収、営業利益57億円、経常利益53億円、親会社株主に帰属する四半期純利益37億円はそれぞれ前年同期比3.9%、12.3%、2.8%の減益となりました。

TOPICS

1

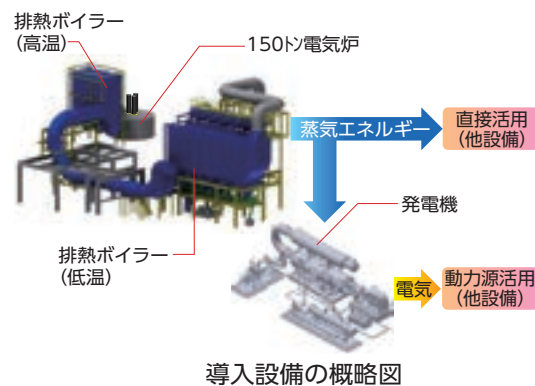
電気炉の排熱回収、発電による省エネルギー改革

基幹事業の競争力強化を目的に、鋼材生産プロセスを改革する「**鋼材4Sリエンジニア\***」の一環として、電気炉の排熱を回収し、さらに電力に変換し活用する製鋼リエンジニア「**電気炉の排熱有効活用**」に取り組んでいます。(本年5月に起工式を実施。平成29年1月稼働予定)

これは、電気炉の排熱を蒸気エネルギーとして回収し、一部は他の設備の**熱源として直接活用**し、さらに**残りを電力に変換**し他設備の動力源としても有効に活用するものです。電気炉排熱を活用した発電事例は**国内業界初**であり、当社エネルギー改革の要として取り組んでいます。

これにより、**エネルギー消費量とCO<sub>2</sub>排出量の削減**を進め、「環境循環型企業」としてよりいっそう**社会・地球環境へ貢献**してまいります。

※4Sリエンジニア=Simple Slim Short Straightを目指したプロセス改革



TOPICS

2

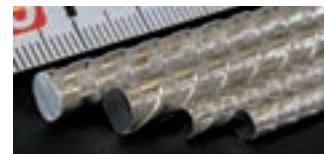
ステンレス鉄筋商品レパートリー拡大「ASCON®-CD6」の販売を開始

「ステンレス鉄筋コンクリートバー(商標:サスコ<sup>®</sup>)」の**商品レパートリー拡大**として、平成24年11月に商品化した「ASCON<sup>®</sup>-CD4」のサイズ拡大品である「ASCON<sup>®</sup>-CD6」を当社グループ会社である愛鋼(株)と共同開発し、本年6月に販売を開始しました。

本製品は、**優れた耐食性とひび割れ分散性の両立**を実現した、**業界初のステンレス異形鉄線**であり、コンクリート二次製品などの補強材として需要が期待されます。

さらに、環境意識の高まりに対応するため、初の造園分野向け商品として「CD4」による壁面緑化用メッシュフェンス「**ステンレスグリフェンス**」を開発し、拡販を進めています。

今後も当社は、製品のレパートリーを広げ、**コンクリート構造物の高耐久化を通して社会に安心・安全を提供**してまいります。



奥2本:ASCON-CD6  
手前2本:ASCON-CD4



壁面緑化用メッシュフェンス「ステンレスグリフェンス」

TOPICS

3

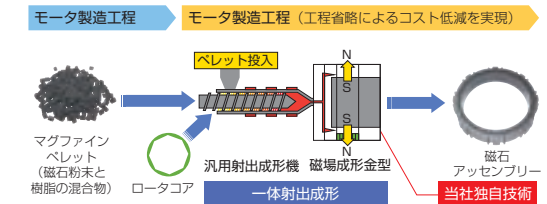
革新工法「一体射出成形」によるDyフリーボンド磁石マグファイン<sup>®</sup>モータの高性能化に対応

平成23年から生産を開始した**レアアース不使用のDyフリーボンド磁石<sup>\*1</sup>マグファイン<sup>®</sup>**が、**(株)マキタの充電式チェーンソー用モータに採用**されました。

マグファイン<sup>®</sup>の優れた特長である形状自由度や大幅な工程省略に加えて、容易に高さの異なる磁石を成形できる革新工法の「**一体射出成形<sup>\*2</sup>**」によって、モータの設計から製造までの**大幅な効率化**を図り、**高性能化**を可能にしたことが評価されました。

今後も、磁粉からボンド磁石までの一貫生産と技術革新により、お客様のニーズを捉えつつ、さらにモータの高性能を進め、**HV車・EV車市場等への参入**を目指します。また、安定調達に不安のあるレアアースの使用量削減による地球環境に貢献しつつ、**お客様へのコスト削減と安定供給に貢献**していきます。

※1:レアアースである重希土類Dy(ジスプロシウム)不使用のNd(ネオジム系)異方性磁石粉末を種々の樹脂で固定して、形作った磁石  
※2:樹脂を含むマグファインペレットを加熱し金型に充填して成形する工法



TOPICS

4

鉄の可能性を楽しく学ぶ「鉄の教室」

出張授業「鉄の教室」は、平成22年の会社創立70周年記念事業の一環として始めた**当社独自の社会貢献活動**です。

東海市内の全小学校12校の小学5年生を対象に開催しており、**今年で7年目195回**を数えます。

授業では、当社社員が講師とアシスタントを務め、鉄に関する講義や、実際に鉄から磁石を作る「**マイ磁石づくり**」を行っています。

参加した児童からは、自らの体験を通して、基幹産業の一つである**「鉄」の可能性や役割について、楽しく学ぶことができると大変好評**です。

当社は、今後も「鉄の教室」を継続して実施し、地域に根ざした積極的な社会貢献活動を推進していきます。



東海市の小学5年生のみなさんが楽しく磁石づくりをしている様子

# 会社の概況

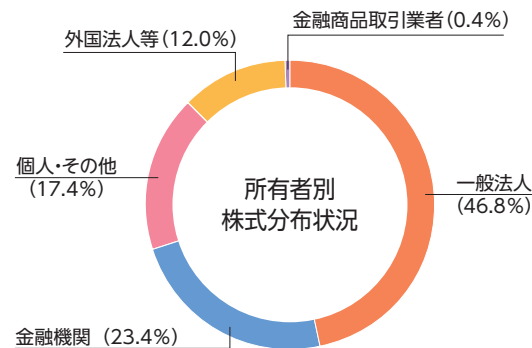
## ■ 会社の概要 (平成28年9月30日現在)

社名 愛知製鋼株式会社  
 設立 昭和15年3月8日  
 資本金 250億1千6百万円  
 営業品目 鋼材、鍛造品、電磁品、その他  
 本社 〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地  
 TEL 052-604-1111 (代表)  
 営業拠点 東京、大阪、福岡  
 工場 知多工場/東海市(特殊鋼条鋼)  
 刈谷工場/刈谷市(ステンレス形鋼)  
 鍛造工場/東海市(鍛造品)  
 東浦工場/東浦町(電磁品)  
 岐阜工場/各務原市(電磁品)  
 関工場/関市(電磁品)  
 電子部品工場/東海市(電子部品)  
 従業員数 (連結) 4,786名 (単独) 2,531名

## ■ 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数 476,000,000株  
 発行済株式の総数 198,866,751株  
 株主数 10,505名

## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 役員 (平成28年9月30日現在)

\*取締役会長 岩瀬隆広 取締役 安井香一  
 \*取締役社長 藤岡高広 取締役 新居勇子  
 \*取締役副社長 鵜飼正男 常勤監査役 金床一郎  
 取締役 専務執行役員 浅野弘明 常勤監査役 後藤卓  
 取締役 常務執行役員 安永直弘 監査役 河野英雄  
 取締役 常務執行役員 小島勝憲 監査役 豊田鐵郎  
 取締役 上級執行役員 知野広明 監査役 小平信因  
 取締役 上級執行役員 山中敏幸

(注) 1. \*印は、代表取締役であります。  
 2. 安井香一および新居勇子の両氏は社外取締役であります。  
 3. 河野英雄、豊田鐵郎および小平信因の3氏は社外監査役であります。

上級執行役員 村上一郎 執行役員 坂本定  
 上級執行役員 石神隆志 執行役員 鹿野厚  
 上級執行役員 古川正樹 執行役員 藤根学  
 上級執行役員 伊藤利男 執行役員 志藤康弘  
 執行役員 野村一衛 執行役員 相地政登

## ■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
トヨタ自動車株式会社	47,157	23.96
新日鐵住金株式会社	15,314	7.78
株式会社豊田自動織機	13,604	6.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,741	3.42
第一生命保険株式会社	5,250	2.67
株式会社三井住友銀行	4,915	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,742	2.41
東和不動産株式会社	4,617	2.35
シービーエヌワイ ガバメント オブ ノルウェイ	4,601	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,049	2.06

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告

上場取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

—当社ウェブサイトのご案内—

<https://www.aichi-steel.co.jp/>

当社は、インターネット上にウェブサイトを開設し、会社の幅広い情報を提供しております。公告掲載が必要な場合、ウェブサイトでお知らせします。みなさまのアクセスをお待ちしております。

